

ボーリング柱状図

調 査 名 平成26年度 静岡県立総合病院 (仮称) 新放射線治療・手術棟建設工事
地質調査業務委託

[illegible]

事業・工事名

シートNo 26100902

ボーリング名	No. 2			調査位置		静岡県葵区北安東地内								北緯	35° 0' 5.8"				
発注機関	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院					調査期間		26年 11月 20日 ~ 26年 11月 26日					東経	138° 23' 5.8"					
調査業者名	東洋地研株式会社 電話 (055-921-4888)			主任技師		増田 浩士		現代理人		大川 渉		コ 鑑 定 者		ア 杉本 和己		ボーリング 責任者	杉本 和己		
孔口標高	H = 10.61m	角	<div><div>180°</div><div>上</div><div>90°</div><div>下</div></div>	方	<div><div>北 0°</div><div>270° 90°</div><div>西 東</div><div>180° 南</div></div>	地盤勾配	<div><div>鉛直 90°</div><div>水平 0°</div></div>	使用機種	試錐機		TOHO DOD				ハンマー 落下用具		半自動落下		
総掘進長	40.45m	度	<div><div>0°</div><div>0°</div></div>	向				エンジン		NFD-10				ポンプ		TOHO BLG			

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位置試験 深度	試験名および結果	試験深度	試験番号	採取方法	室内試験(月日)	掘進	
											深 度	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値								
												0 〓 10	10 〓 20	20 〓 30										
1	9.06	1.55	1.55		盛土	淡灰			20cmまではアスファルト及び砕石 20cm以深はシルト質砂礫主体にコン クリート塊を含む大礫が多く混じる	11/20 2.05	1.15	1	8	10	19 30	19								
2	8.01	1.05	2.60		砂質シルト	暗灰		中位	微細砂～細砂を多く混入する 含水比比較的高い 繊維質の有機物を含む 深度が増す毎に粘性を失う傾向にある	2.15	1	2	2	5 30	5				2.15		○			
3										2.45									2.45					
4					シルト	暗灰		非常に軟らかい	含水比中位 繊維質の有機物を含有する 所々に10～15cm程の薄層状に腐植土を介在する 3.9～4.0m間は細砂層を介在し、5mm程度の小円礫が点在する	3.15	1 15	1 15		2 30	2						○			
5	5.71	2.30	4.90							3.45														
6	4.91	0.80	5.70		シルト質砂	暗灰		緩い	微細砂を主体とする 含水比中位 全体に少量のシルトを帯び、繊維質の有機物を含む	4.15	1 15	1 15		2 30	2						○			
7	3.81	1.10	6.80		腐植土	暗褐		非常に軟らかい	含水比比較的低位 繊維質の残留が多い	4.45														
8	3.21	0.60	7.40		シルト質砂	暗灰		緩い	細砂を主体とする 含水比中位 所々にシルト質微細砂の薄層（5cm未満）を介在する	4.45														
9	2.56	0.65	8.05		砂質シルト	暗灰			有機物を含有するシルト主体とする 微細砂を多く含む粘性が弱い	4.45														
10	2.21	0.35	8.40		シルト質砂	暗灰		緩い	微細砂を主体とし、有機物を含む	5.15	2	2	1	5 30	5						○			
11					砂礫	暗灰		中ぐらい	礫径最大50mm平均5～10mmの円礫を主体 砂は細砂を主体とする 含水比中位 有機物を若干含む	5.45														
12	-1.39	2.60	12.00		砂質シルト	暗灰		硬い／中位	砂は微細砂を主体とする 含水比中位 全体に砂を多く含む 繊維質の有機物を含有する	6.15	1 20	1 15		2 35	1.7						○			
13	-2.29	0.90	12.90		礫混じり砂	暗灰		中ぐらい	砂は細砂を主体とし、3～5mm程の小円礫が点在する 含水比中位 有機物を含有する	6.50														
14	-3.49	1.20	14.10		シルト	暗灰		中位	含水比は比較的低位 繊維質の有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 同様に砂質層が点在する	7.15	3	3	2	8 30	8						○			
15	-5.19	1.70	15.80		シルト質砂	暗灰		中ぐらい	上部は細砂主体とし、深度が増す毎に細粒化する傾向にある 所々にシルトを5cm程の薄層状に介在する 最下部は微細砂を主体とする	7.45														
16	-6.09	0.90	16.70		砂礫	暗灰		非常に密な	礫径最大50mm、平均5～10mmの亜円礫～円礫よりなる 砂は細砂を主体とする 有機物の存在が確認される	7.45														
17					シルト	暗灰		中位	含水比は比較的低位 繊維質の有機物を含有する 所々に微細砂を5cm程の薄層状に介在する	8.15	1	1	5	7 30	7						○			
18	-7.64	1.55	18.25		礫混じり砂	暗灰		密な	微細砂～細砂を主体とする 含水比中位 3～5mm程の小円礫が点在し、部分的に砂礫の薄層状となる	8.45														
19	-8.89	1.25	19.50		シルト混じり砂	暗灰		中ぐらい	全体にシルトを含む微細砂を主体とする 有機物を含有し、含水比低位を示す	9.15	11	10	7	28 30	28						○			
20	-9.89	1.00	20.50							9.45														
21					シルト	暗灰		硬い	含水比は比較的低位 有機物を含有するシルトを主体とする 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	10.15	3	3	3	9 30	9						○			
22										10.45														
23	-12.74	2.85	23.35		砂	暗灰		中ぐらい	上部は微細砂～細砂を主体とする 24m付近より中砂混じり細砂となる 所々に3～5mm程の小円礫が点在する 含水比中位	11.15	3	2	3	8 30	8						○			
24	-14.44	1.70	25.05							11.45														
25										12.15	6	5	6	17 30	17						○			
26					シルト	暗灰		中位	含水比は比較的低位 繊維質の有機物を含有する 所々に微細砂を5cm程の薄層状に介在する	12.45														
27	-17.89	3.45	28.50		砂礫	暗灰		非常に密な	礫径最大60mm、平均5～15mmの亜円礫～円礫を主体とする 砂は細砂よりなる 含水比は全体に高く、透水性に富む 細砂を10cm未満の薄層状に介在し、稀にシルトを帯びた部分が点在する	13.15	2	2	3	7 30	7						○			
28	-20.19	2.30	30.80							13.45														
29	-20.79	0.60	31.40		シルト	暗灰		硬い	含水比低位 有機物や少量の貝殻片を含有する 所々に10cm前後の腐植土の薄層を介在する	14.15	5	5	6	16 30	16						○			
30	-21.89	1.10	32.50		砂	暗灰		密な	細砂主体に少量も有機物を含有する シルトの薄層（5cm未満）が点在 31.75～31.9m間はシルトを挟む 32.25～33.35m間は砂礫層は挟む	14.45	5	4	3	12 30	12						○			
31										15.15	5	4	3	12 30	12									
32	-25.19	3.30	35.80		砂礫	暗灰		非常に密な	礫径最大60mm、平均5～15mmの亜円礫～円礫を主体とする 砂は細砂を主体とする 含水比は中位～高位を示し、透水性に富む 所々に細砂を薄層状に介在する 34.10～34.20m、35.10～35.25m間は細砂が主体である	15.45														
33	-25.79	0.60	36.40		礫混じり砂	暗灰		非常に密な	細砂主体に3～5mmの小円礫を含有する 含水比中位	16.15	20	21	23	64 30	64						○			
34	-26.64	0.85	37.25		シルト質砂	暗灰		中ぐらい	微細砂主体に、全体にシルトを含む 含水比低位	16.45														
35	-27.09	0.45	37.70		礫混じり砂	暗灰		密な	細砂を主体とし、3～5mm程の小円礫を含有する	16.45														
36	-27.69	0.60	38.30		シルト	暗灰		硬い	含水比低位、有機物を含有する	17.15	2	2	3	7 30	7						○			
37										17.45														
38	-28.99	1.30	39.60		砂	暗灰		中ぐらい	微細砂主体とし、含水比低位 シルトの薄層を介在し、有機物を含有する 部分的にシルト質層との互層となる	18.15	1	12	10	23 30	23						○			
39	-29.84	0.85	40.45		シルト	暗灰		硬い	含水比低位 繊維質の有機物を含有する 腐植土混じりで褐色を示す部分が点在する	18.45														
40										18.45														
41										19.15	14	12	13	39 30	39						○			
42										19.45														
43										20.15	3	3	4	10 30	10						○			
44										20.45														
					シルト	暗灰		硬い	含水比は比較的低位 有機物を含有するシルトを主体とする 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	21.15	2	3	3	8 30	8						○			
										21.45														
										22.15	2	3	4	9 30	9						○			
										22.45														
										23.15	3	4	6	13 30	13						○			
										23.45														
										24.15	8	10	11	29 30	29						○			
										24.45														
										25.15	3	3	3	9 30	9						○			
										25.45														
										26.15	3	3	4	10 30	10						○			
										26.45														
										27.15	2	3	4	9 30	9						○			
										27.45														
										28.15	2	2	4	8 30	8						○			
										28.45														
										29.15	31	32		63 20	94.5									
										29.35														
										30.15	29	31		60 20	90.0									
										30.35														
										31.15	3	3	5	11 30	11						○			
										31.45														
										32.15	7	16	10	33 30	33						○			
										32.45														
										33.15	29	31		60 20	90.0									
										33.35														
										34.15	20	35	5 2	60 22	81.8									
										34.37														
										35.15	11	29	20 6	60 26	69.2									
										35.41														
										36.15	19	19	12	50 30	50						○			
										36.45														
										37.15	4	12	13	29 30	29						○			
										37.45														
										38.15	4	6	7	17 30	17						○			
										38.45														
										39.15	6	6	9	21 30	21						○			
										39.45														
										40.15	4	5	6	15 30	15						○			
										40.45														

ボーリング柱状図

調 査 名 平成26年度 静岡県立総合病院 （仮称）新放射線治療・手術棟建設工事
地質調査業務委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo 26100903

ボーリング名	No. 3			調査位置	静岡市葵区北安東地内				北 緯	35° 0' 9.4"			
発 注 機 関	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院					調査期間	26年 11月 26日 ～ 26年 12月 5日		東 経	138° 23' 6.5"			
調 査 業 者 名	東洋地研株式会社 電話 (055-921-4888)			主任技師	増田 浩士		現代 場 人	大川 渉	コ 鑑 定 者	杉本 和己		ボーリング責任者	杉本 和己
孔 口 標 高	H = 10.67m	角	<div><div>180°</div><div>上</div><div>90°</div><div>下</div><div>0°</div></div>	方	<div><div>北 0°</div><div>270° 西</div><div>90° 東</div><div>180° 南</div></div>	地盤勾配	<div><div>鉛直</div><div>水平0°</div><div>90°</div><div>0°</div></div>	使用機種	TOHO D0-D		ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	40.45m	度		向				エンジン	NFD-10		ポンプ	TOHO BG4L	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験(掘進)		
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	深	試験名	深	試料採取			
												0	10	20							度	および結果
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分				事	(m)／測定月日	(m)	10	20	30	(cm)	(m)	()	(m)	号	法	()	月日
1	9.17	1.50	1.50		盛土	暗灰			20cmまではアスファルト及び砕石 20cm以深はシルト質砂礫を主体とし、コンクリート片を含む大礫が下部に存在する	11/26 11:20	1.15	1	10	5	16/30	16						
2	7.97	1.20	2.70		砂質シルト	暗灰	非常に緩い		微細砂とシルトの混合状 含水比比較的高い 繊維質の有機物を含有する 最上部は10cm程の薄いシルトを介在する	11/26 11:20	1.45	1	1	1	3/30	3			2.15		○	
3					シルト	暗灰	非常に軟らかい		含水比中位 繊維質の有機物を含有する 所々腐植土が混じり褐色に変色する	11/26 11:20	2.15	1	1	1	3/30	3			2.45		○	
4	6.72	1.25	3.95		シルト	暗灰	非常に軟らかい		含水比中位 繊維質の有機物を含有する 所々腐植土が混じり褐色に変色する	11/26 11:20	2.45	1	1	1	3/30	3			2.70		○	
5	5.07	1.65	5.60		シルト質砂	暗灰	緩い～中ぐらい		微細砂～細砂を主体とする 含水比中位 繊維質の有機物を含有し、所々に木片が混じる 10cmの礫混じり細砂層が介在する	11/26 11:20	3.15	1/20	1/15	2/35	1.7			3.00		○		
6					シルト	暗灰	緩い～中ぐらい		微細砂～細砂を主体とする 含水比中位 繊維質の有機物を含有し、所々に木片が混じる 10cmの礫混じり細砂層が介在する	11/26 11:20	3.50	1	2	4	7/30	7			3.60		○	
7					腐植土	黒褐	軟らかい		含水比は比較的低位 繊維質の残留が多い 7.3～7.5m間はシルトを挟む 以深はシルトの薄層やシルトを含む部分が点在する	11/26 11:20	4.15	1	2	4	7/30	7			4.15		○	
8	2.17	2.90	8.50		砂礫	暗灰	密な		礫径最大50mm、平均5～10mm程度 亜円礫～円礫よりなる 砂は細砂を主体とする 含水比中位～高位を示し、若干の透水が見られる	11/26 11:20	4.45	1	7	5	13/30	13			4.45		○	
9	0.67	1.50	10.00		シルト質砂	暗灰	中ぐらい		シルト混じり微細砂～微細砂～細砂の互層状である 有機物を含有し、含水比は中位	11/26 11:20	5.45	1	1	1	3/30	3			7.15		○	
10	0.07	0.60	10.60		砂質シルト	暗灰	中位		含水比中位を示し、有機物を含有する 微細砂を含み、粘性は弱い	11/26 11:20	6.15	1	1	1	3/30	3			7.50		○	
11	-1.13	1.20	11.80		シルト混じり砂	暗灰	中ぐらい		細砂を主体とし、含水比は中位 深度が増す毎に粒径が大きくなる 12.35m以深は礫混じり細砂となる	11/26 11:20	6.45	1	1	1	3/30	3			7.15		○	
12	-1.88	0.75	12.55		シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位を示し、繊維質の有機物を含有する 腐植土は薄層を介在する	11/26 11:20	7.15	1	1	1	3/35	2.6			7.50		○	
13	-2.83	0.95	13.50		シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	7.50	1	1	2	4/30	4			8.15		○	
14	-4.58	1.75	15.25		シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	8.45	10	11	11	32/30	32			8.45		○	
15	-5.13	0.55	15.80		砂礫	暗灰	非常に密な		礫径最大50mm、平均5～10mm 亜円礫～円礫よりなる 砂は細砂を主体とする	11/26 11:20	9.15	3	4	5	12/30	12			9.15		○	
16	-5.93	0.80	16.60		シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	9.45	2	2	3	7/30	7			9.45		○	
17	-7.13	1.20	17.80		砂質シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	10.15	3	4	5	12/30	12			10.15		○	
18	-8.63	1.50	19.30		シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	10.45	2	2	3	7/30	7			10.45		○	
19	-9.43	0.80	20.10		砂混じりシルト	暗灰	非常に硬い		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	11.15	3	4	5	12/30	12			11.15		○	
20	-11.68	2.25	22.35		シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	11.45	3	4	5	12/30	12			11.45		○	
21	-12.33	0.65	23.00		シルト質砂	暗灰	中ぐらい		微細砂を主体とし、シルトが混じる 含水比は比較的低位を示し、有機物を含有する	11/26 11:20	12.15	3	4	5	12/30	12			12.15		○	
22	-13.93	1.60	24.60		砂	暗灰	密な中ぐらい		上部では所々に3～5mm程の小円礫が点在する 深度が増す毎に粒径は小さくなる 最下部は微細砂主体となる	11/26 11:20	12.45	2	1	2	5/30	5			12.45		○	
23					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	13.15	4	4	4	12/30	12			13.15		○	
24					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	13.45	4	4	4	12/30	12			13.45		○	
25					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	14.15	4	2	2	8/30	8			14.15		○	
26					砂礫	暗灰	非常に密な		礫径最大50mm、平均5～10mm 亜円礫～円礫よりなる 砂は細砂を主体とする	11/26 11:20	14.45	4	2	2	8/30	8			14.45		○	
27					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	15.15	15	18	22	55/30	55			15.15		○	
28					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 腐植土の薄層を介在する	11/26 11:20	16.15	2	3	3	8/30	8			16.15		○	
29					砂礫	暗灰	非常に密な		礫径最大50mm、平均5～10mm 円礫を主体とし、砂は細砂を主体とする 含水比は中位 18.8～18.95m間は細砂層を介在する	11/26 11:20	16.45	2	3	3	8/30	8			16.45		○	
30					砂礫	暗灰	非常に密な		礫径最大50mm、平均5～10mm 円礫を主体とし、砂は細砂を主体とする 含水比は中位 18.8～18.95m間は細砂層を介在する	11/26 11:20	17.15	24	31	5/2	60/22	81.8			17.15		○	
31					砂混じりシルト	暗灰	非常に硬い		微細砂を多く含む 含水比中位を示し、有機物を含有する	11/26 11:20	17.45	20	12	6	38/30	38			17.45		○	
32					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	18.15	2	2	2	6/30	6			18.15		○	
33					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	18.37	2	2	2	6/30	6			18.37		○	
34					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	19.15	2	3	3	8/30	8			19.15		○	
35					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	19.45	2	2	2	6/30	6			19.45		○	
36					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	20.15	2	2	2	6/30	6			20.15		○	
37					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	20.45	2	3	3	8/30	8			20.45		○	
38					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	21.15	2	3	3	8/30	8			21.15		○	
39					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	21.45	2	3	3	8/30	8			21.45		○	
40					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:20	22.15	3	3	6	12/30	12			22.15		○	
41					シルト	暗灰	中位		含水比は比較的低位 有機物を含有する 所々に腐植土を5～10cm程の薄層状に介在する 腐植土が混じり褐色を示す部分が点在する	11/26 11:27												

ボーリング柱状図

調 査 名 平成17年度 県立総合病院循環器病センター建築工事地質調査業務委託

ボーリングNo 2

事業・工事名 (BMは、北館のフロアーレベルを11.10mとする)

シート No 2

ボーリング名	B - No . 2			調査位置		静岡県静岡市 葵区北安東 地先					北 緯	35° 0' 11.0"		
発 注 機 関	静岡県都市住宅部					調査期間	平成 17年 7月 18日 ~ 17年 7月 20日					東 経	138° 3' 9.0"	
調 査 業 者 名	株式会社 中日本コンサルタント 電話 (054-257-9781)			主任技師		植 松 明 義		現 代 場 代 理 人	植 松 明 義	コ 鑑 定 者	植 松 明 義	ボ-リング 責 任 者	松 本 辰 朗	
孔 口 標 高	10.69m	<div>角</div> <div></div> <div>度</div>	<div>方</div> <div></div> <div>向</div>	<div>地盤勾配</div> <div></div> <div>鉛直</div>	<div>使用機種</div>	試 錐 機	K R - 1 0 0			ハンマー 落下用具	半 自 動 落 下 装 置			
総 掘 進 長	40.50m					エ ン ジ ン	N F D - 9			ポ ン プ	V - 4			

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質	色調	相対	相対	記	孔内	標準貫入試験						原位置試験		試料採取			室内	掘進						
											深	10cmごとの			打撃回数 / 貫入量	深	試験名	深	試料	採取	室内								
												度	打撃回数	打撃回数										度	および結果	度	料番号	方法	試験
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	密	稠	事	水位 (m) / 測定月日	(m)	0	10	20	30	(cm)	(m)	()	(m)	号	法	()	月	日					
1					盛土	暗灰、暗褐			表部アスファルト約3cm。 GL-3.80mまで10-50mmの亜角礫を混在するシルト質砂礫状。 GL-1.50m-3.80m区間は「ガサガサ」状。 GL-3.80m以深はシルト質砂礫を主体とし、粘性土を不均質に混入するものの、泥水掘削においては逸泥が著しい。	7/18 3.30 ▽	1.15	1	1	3	5/30	5													
2											1.45																		
3											2.15	4	4	3	11/30	11													
4											2.45																		
5											3.15	5	5	5	15/30	15													
6											3.45																		
7	4.39 3.99	6.30 0.40	6.30 6.70		腐植土	黒褐			黒泥状を化す。含水中～高位。		4.15	1	1	1	3/30	3													
8	2.89	1.10	7.80		シルト	暗灰		軟らかい	含水は「中位」。粘性は「弱い」。腐植物を少量混入する。		4.45																		
9	1.69	1.20	9.00		シルト混じり砂	暗灰		緩い～中ぐらい	シルトの混入は不均質にあり、5cm程度のシルト薄層も部分的に挟在する。砂は細砂を主体とするが、粗砂の挟在も見られる。腐植物を少量混入する。		5.15	1/20	1		2/30	2													
10	-0.11	1.80	10.80		砂混じりシルト	暗灰		中位	含水比は「中位」。粘性は「中位」。細砂を薄層にて少量挟在。腐植物を少量混入し、部分的に腐植土質状を示す。		5.45																		
11	-1.21	1.10	11.90		シルト混じり砂	暗灰		中ぐらい	細砂を主体とし、部分的に砂混じりシルトを挟在。腐植物を少量混入。		6.15	11	2	1	14/30	14													
12	-2.21	1.00	12.90		シルト	暗灰		中位	含水比は「低～中位」。粘性は「弱い」。一部腐植土質状を示す。		6.45																		
13	-2.81	0.60	13.50		砂礫	暗灰		密な	2～20mm程度の亜角～亜円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。		7.15	1	2	2	5/30	5													
14	-3.81	1.00	14.50		シルト	暗灰			含水比は「中位」。粘性は「中位」。掘削にて確認した。		7.45																		
15	-4.21	0.40	14.90		シルト質砂	暗灰		中ぐらい	細砂を優勢とするシルトとの互層状。腐植物をわずかに混入。		8.15	1	1	1	3/30	3													
16	-5.21	1.00	15.90		砂礫	暗灰		密な	2～20mm程度の亜円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。		8.45																		
17	-6.41	1.20	17.10		シルト	暗灰			含水比は「低～中位」。粘性は「弱い」。腐植物を少量混入する。		9.15	1	3	3	7/30	7													
18	-7.61 -7.81	1.20 0.20	18.30 18.50		シルト混じり砂 砂礫	暗灰			シルトを薄層にて少量挟在。GL-8.40mより2～5mm程度の礫を少量混在。		9.45	4	5	7	16/30	16													
19	-9.01	1.20	19.70		シルト質砂	暗灰		中ぐらい	細砂をやや優勢とし、シルトをシーム状または不均質にて混入する。		10.15	2	2	2	6/30	6													
20	-9.81 -10.21	0.80 0.40	20.50 20.90		シルト	暗灰			含水比は「低～中位」。腐植物をわずかに混入する。		11.15																		
21					砂質シルト	暗灰		硬い、非常に硬い	含水比は「低～中位」。粘性は「弱い」。砂質シルトを主体とし、所々、細砂の薄層を挟在する。また部分的にシルト分を2～5cm程度の薄層にて挟在する。	11.45																			
22										12.15	4	3	4	11/30	11														
23										12.45																			
24										13.15	2	2	2	6/30	6														
25										13.45																			
26										14.15	15	14	10	39/30	39														
27					14.45																								
					15.15	4	4	5	13/30	13																			
					15.45																								
					16.15	12	12	15	39/30	39																			
					16.45																								
					17.15	3	3	3	9/30	9																			
					17.45																								
					18.15	7	12	14	33/30	33																			
					18.45																								
					19.15	20	20	16	56/30	56																			
					19.45																								
					20.15	3	4	4	11/30	11																			
					20.45																								
					21.15	3	2	3	8/30	8																			
					21.45																								
					22.15	5	6	6	17/30	17																			
					22.45																								
					23.15	3	4	6	13/30	13																			
					23.45																								
					24.15	5	5	7	17/30	17																			
					24.45																								
					25.15	3	3	3	9/30	9																			
					25.45																								
					26.15	5	4	5	14/30	14																			
					26.45																								
					27.15	3	3	3	9/30	9																			

ボーリング柱状図

平成 16 年度〔第 16-Z0148-01 号〕

調 査 名

県立総合病院 PET センター(仮称)地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo

シート No.

ボーリング名	BV-2			調査位置	静岡県静岡市北安東地内					北緯	36° 0' 8.2"	
発注機関	株式会社グランドリサーチ				調査期間	平成 16 年 12 月 20 日 ~ 16 年 12 月 27 日				東経	138° 23' 30.7"	
調査業者名	株式会社グランドリサーチ 電話 (054-259-0939)			主任技師	大石 義彦		現場代理人	島田 直樹	コ 鑑 定 者	島田 直樹	ボーリング責任者	富田 祐司
孔口標高	10.61m	<div>角 180° 上 90° 下 0° 度</div>	<div>方 北 0° 270° 西 180° 東 南 向</div>	<div>地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°</div>	使用機種	試錐機	YBM-05		ハンマー落下用具	コーンブリー		
総掘進長	37.50m					エンジン	NFD-9		ポンプ	GP-5		

